

クラウド化を命じられた方必見！ 手軽に始められるクラウド化事例のご紹介

上司から社内システムのクラウド化を命じられたが、何から手を付けて良いかわからないという方向けに、お手軽に導入できるクラウド化の事例をご紹介します。

政府は2018年の「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用に係る基本方針」にて、「クラウド・バイ・デフォルト原則」という言葉を使い、政府の情報システムの導入にクラウドサービスの利用を第一候補にする方針を打ち出しました。

これにより、民間企業も更に社内システムをクラウド化する流れが来ていると実感しております。

現にお客様のお悩みとして、上司からクラウド化やクラウド導入を命じられたが、何をして良いかわからないというお悩みを良く耳にします。

そもそもクラウド化とは何なのでしょう。

クラウド化とは、社内にあるシステムやサーバを外部に出し、社内からネッ

トワーク経由でシステムを利用することを指します。

一度導入すれば便利なクラウドサービスですが、何から始めて良いかわからないという方向けに、比較的手軽に始められるクラウド化の事例をご紹介します。

それは、NASのクラウド化です。企業のNAS運用には一部問題があると考えております。NASのハードディスクが冗長化されていなければ、ハードディスクが故障した場合、大切なデータが失われてしまいます。ハードディスクが冗長化されていても、部品が故障した場合はサポート窓口を確認して問合せをしたり、サポートが無ければ自前で機器を調達する等、運用の手間がかかります。

以下にNASからクラウドストレージサービスへ移行した場合の移行手順をまとめました。

NASからクラウドストレージサービスへの移行手順

ユーザ数 10～20 規模のケース

最短 2 週間
で移行完了！

- 1 **利用するクラウドストレージサービスの決定**
(所要日数：2～3日)
→ 利用料金、保存容量、アカウント数を考慮し適切なサービスを探す
- 2 **サービスを申し込み、アカウントを発行**
(所要日数：7日)
→ 申込から1週間程でアカウントが払い出される
- 3 **データ移行とアクセス権設定等の初期設定を実施**
(所要日数：1～2日)
→ 土日等の休業日にデータを一括移行、ファイル・フォルダのアクセス権を設定
- 4 **クラウドストレージサービス利用開始**
(所要日数：2～3日)
→ 使用者にアカウントのログイン情報を配布し、移行完了

ユーザ数が10～20の小規模の場合、以上の4ステップ、2週間程で移行が完了します。移行する時間が無く、なかなかクラウドサービスを導入できないという担当者の方でも、NASのクラウド化でしたら、比較的短期間で導入することができます。

また、社内のNASをクラウドストレージサービスへ移行することで以下のメリットが得られます。

- ・外部のデータセンターにデータを保管できる → BCP対策
- ・ハードウェアの故障、保守を気にしなくてよい → 管理工数の削減
- ・外出先やテレワーク環境からも接続できる → テレワーク促進

NASのクラウド移行は導入ハードルが低く、得られるメリットも大きいので、まず最初に取り組むべきクラウド化の事例だと言えます。

弊社では様々なクラウドサービスを取り扱っており、今までにお客様のクラウド化の支援を多く行ってきた実績があります。社内システムのクラウド化にご興味のある方や、クラウドサービスについて知りたいという方はWEBサイトよりお問合せください。

BizGr@nd
ビズグランド

パフォーマンス確保型クラウドサーバー

BizTr@nk
ビズトランク

クラウド型ファイル転送サービス